Creative Enzymes®

ヒト由来の酸性ホスファターゼ1、再組換え

Cat. No. NATE-1672

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明	酸性ホスファターゼ1（ACP1とも呼ばれる）は、ホスホチロシンタンパク質ファミリーに属します。これは酸性ホスファターゼおよびタンパク質チロシンホスファターゼ（PTPase）として機能し、脂肪細胞を含むすべてのヒト組織に存在します。この酵素は、タンパク質チロシンリン酸をタンパク質チロシンとオルトリン酸に加水分解し、またオルトリン酸モノエステルをアルコールとオルトリン酸に加水分解します。
別名	酸性ホスファターゼ1; 可溶性アイソフォームb; ACP1; HAAP; LMW-PTP; 赤血球酸性ホスファターゼ1; 脂肪細胞酸性ホスファターゼ

製品情報

種	人間
由来	大腸菌
形態	液体
***EC*番号**	EC 3.1.3.2
***CAS*登録番号**	9001-77-8
分子量	20.1 kDa (178 aa, 1-158 aa + NT His-Tag)
純度	> SDS-PAGEによる95%
活性	> 15,000 ユニット/mg タンパク質
濃度	1 mg/ml
エンドトキシンレベル	< 1.0 EU は 1 μg のタンパク質あたり（LAL法によって決定）
単位定義	1ユニットは、37°CでpH 5.0のMESを使用し、10 mMの基質で1 nmoleのp-ニトロフェニルリン酸を1分間に加水分解する酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法	短期間（1-2週間）で4°Cに保存できます。長期保存の場合は、分注して-20°Cまたは-70°Cで保存してください。繰り返しの凍結と解凍のサイクルを避けてください。